

2019年3月18日

濱田市長へ

我々高槻AETが突然卒業式への列席を拒まれてから5年近くが過ぎました。この出来事は、AETが卒業式に参加してきた長い伝統を破る、何の正当な理由もないものでした。あなたご自身もご承知の通り、卒業式は生徒達が達成した業績と過ごしてきた学校生活とを祝う大事な行事です。多くの生徒達は当初「みんなの」AETがこの卒業式に参加することを楽しみにしていました。でも、その姿がなかったことに失望しました。私達は生徒達にとって「先生」だったのですから。

私達AETが求めたのは全て当たり前の労使関係に基づく事柄だけでした。法に従って各種の保険に加入させること、居住の自由を保障すること、そしてそれらを通じて高槻で喜びをもって働くことでした。高槻市がこうした基本的権利を私達AETに与えることを拒み、そして生徒達の人生の中の重要な節目の行事から私達AETを排除したことは、「なぜ」という問いを生みます。

私がこのあなたへの手紙を書いているのは、私達の法的な勝利を自慢するためではありません。あなた方に、この経験から学ばれることを求めるためです。あなた方の行動には何の正当な理由もなかったのに、それを正当化しようとして膨大な時間とエネルギーとが費やされたのはなぜなのでしょう。

高槻市自身が我々の法的勝利の条件を作り出し、時間を費やしても自らの行動の正当性について道理ある主張もできようがなかったことを世にさらしたのです。

敬具



ブレット・シュロフル